



小笠原で暮らすイルカたち

「イルカのイヤリング」

ミナミハンドウイルカの体に5cmほどの茶色いひものようなもの(写真)が付いているのを見たことがありますか? 尾びれや背びれ、胸びれに1本から数本、時には10本以上付いています。まるで、イヤリングかピアスを付けたような感じです。



これはエボシフジツボというフジツボの仲間です。フジツボというと岩場等に付いている山形の固い殻の生き物を思い浮かべますが、こんな形のものもいるのです。イルカには、このエボシフジツボが付いている個体と付いていない個体がありますが、付いている場所としては尾びれが圧倒的に多いのです。

でも、どうやってこのフジツボたちは高速で泳ぐイルカの体にくっつくことができたのでしょうか。また、くっつきやすい個体とそうでない個体がいるのでしょうか。と、いろいろと疑問がわいてきます。その疑問を解明すべく調査を始めましたので、研究が進展したらまたお知らせいたします。でも、イルカはこんなものがぶら下がっていて、邪魔ではないのでしょうかね。

「見守ってきた親子のその後」

ちょうど一年前の「イルカ通信No.17号」でご紹介したミナミハンドウイルカの親子(#55と#118)、子イルカは生まれて間もない頃からずっと観察されており、今年の夏で5歳になります。体もだいぶ大きくなりましたが、いまだに母イルカと一緒にいます。2月と3月の調査でも、一緒にいるのが確認されました。

なお、この母イルカ(#55)は背びれの右側に白いぶつぶつ状の皮膚異変があり、洋上から見てもすぐに見分けることができます。この皮膚の異変は以前からありますが、少しずつ範囲が広がってきており、気になるところです。



ザトウクジラの陸上観覧会

おがさわら丸入港日 16時から17時

4/2・8・14・20・27・5/1

参加費無料



海況が悪い時は中止

場所: 三日月山展望台(現地集合解散)

いっしょにクジラも観ましょう!



ナイトレクチャー

おがさわら丸出港前日19時30分から20時30分

4/4・10・16・22・30・5/4

費用: 資料代として500円 (村民・OWA会員は無料)

場所: 小笠原ビジターセンター

クジラの楽しいお話だよ~!

